

**製品名: CD40 (リン酸化 Thr254) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04403**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	30kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD40
別名	CD40; TNFRSF5; Tumor necrosis factor receptor superfamily member 5; B-cell surface antigen CD40; Bp50; CD40L receptor; CDw40; CD antigen CD40
遺伝子 ID	958.0
SwissProt ID	P25942
免疫原	抗血清は、Thr254 のリン酸化部位周辺のヒト TNFRSF5 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 220-269

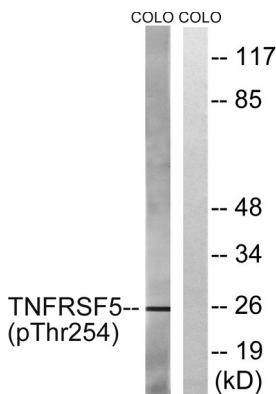
**背景**

この遺伝子は TNF 受容体スーパーファミリーのメンバーです。コードされているタンパク質は免疫系の抗原提示細胞上の受容体であり、T細胞依存性免疫グロブリンクラススイッチ、メモリー B 細胞の発達、胚中心形成など、多様な免疫応答および炎症応答の媒介に不可欠です。AT フック転写因子 AKNA は、この受容体とそのリガンドの発現を協調的に制御することが報告されており、同型細胞間相互作用に重要である可能性があります。アダプタータンパク質 TNFR2 はこの受容体と相互作用し、シグナル伝達のメディエーターとして機能します。この受容体とそのリガンドの相互作用は、アミロイド β 誘導性ミクログリア活性化に必要であることが判明しており、アルツハイマー病の発症初期段階であると考えられています。この遺伝子に影響を及ぼす変異は、常染色体劣性高 IgM 免疫不全症 3 型 (HIGM3) の原因である。代替製品: 追加のアイソフォームが存在すると思われる。疾患: CD40 の欠陥は、高 IgM 免疫不全症 3 型 (HIGM3) [MIM:606843] の原因である。HIGM3 は常染色体劣性疾患であり、B 細胞が体液性免疫系の最終分化段階の 1 つであるアイソタイプスイッチを起こせないこと、抗体特異的免疫応答を開始できないこと、胚中心形成が欠如していることなどが含まれる。機能: TNFSF5/CD40LG の受容体。オンライン情報: CD40 エントリ、オンライン情報: CD40 変異データベース、類似性: 4 つの TNFR-Cys 反復を含む。サブユニット: モノマーとホモダイマー。膀胱癌細胞株 Hu549 で発見された変異型は、ホモ二量体。TRAF1、TRAF2、TRAF3、TRAF5、TRAF6 と相互作用する。組織特異性: B 細胞および原発性癌。

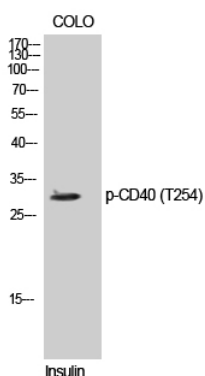
## 研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用、細胞接着分子 (CAM)、Toll-Like、IgA 産生のための腸管免疫ネットワーク、喘息、自己免疫甲状腺疾患、全身性エリテマトーデス、同種移植拒絶反応、原発性免疫不全症、ウイルス性心筋炎、

## 画像データ



インスリン 0.01U/ml を 15 分間処理した COLO205 細胞のライセートを、TNFRSF5 (リン酸化 Thr254) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 CD40 (T254) ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた COLO 細胞のウェスタンブロット解析